

## 六地藏さま建立発願御礼

「六地藏さま発願」に際し三月より浄財志納をお願い致しましたところ、七百名以上の方々よりご芳志を頂戴いたしお盆前に建立できました。お地藏さまのことを「代受苦の仏さま」と申します。人々の苦しみ悩みを代わって受けてくださる仏さまです。地藏菩薩本願経には「地藏菩薩の名を聞いたり、その名をたたえたり、礼拝したり、名を唱えたり、供養したり、地藏菩薩の形姿を絵に描いたり、石に彫ったり、土で作ったりした人は、まさに末永く悪道に落ちることはない」とあります。どうぞご来寺の節は心願成就、誓願のお参りを願ひ申し上げます。有難うございました。尚、志納金合計及び建立費等は左記のとおりです。  
 \* 浄財志納はまだ受付けておりませんのでご希望の方はお申し込みください。

収入	
志納金合計	3,685,000 円 (716名)
寺会計より	531,000 円
	<hr/> 4,216,000 円
支出	
建立費 (六体地藏・御堂・寶錢箱)	2,100,000 円
記念数珠代 (2,500円×740ヶ他)	1,880,000 円
芳名板印刷代	236,000 円
	<hr/> 4,216,000 円
	H17.8.31

### 各寺の行事

九月六〜七日 耕雲寺

本寺村上市門前耕雲寺開山忌及び四十九世中興大機晚成大和尚五十回忌法要

十月八日 正統寺

両祖忌(道元禪師・瑩山禪師)ご命日法要

十月十六日 広厳寺

秋の仏教講演会  
講師 松平實胤老師

胎内市曹洞宗寺院主催

十一月一日 大輪寺

菩薩戒修行式(一日授戒)  
北信越管区教化センター主催

十一月五日 広厳寺

三遊亭鳳楽独演会

こども禅の集い 終了

七月二十八〜二十九日

十二天常光寺で小、中学生四十名の参加にて開催された。坐禅、写経、清掃、読経、食事、工作、花火等

お寺の生活を体験しながら

沢山の思い出ができた夏休み

の二日間でした。

## 仏事の知識

弔電作法

葬儀の場に於いては喪主の縁戚の方がご霊前に進み出て弔電を読み上げる事がしばしばある。その作法は、導師に一礼、ご霊前に進み合掌焼香し、「弔電がまいっておりますのでご霊前にてご奉読申し上げます」と言ってから読み上げる。「ご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます」(逝去・せいきよ)(悼み・いたみ)と読む。読み終わって、「以上、謹んでご霊前にお供えいたします」と弔電を前机に置き、再度合掌焼香して、導師に一礼して自位に着く。弔電多数の場合は時間の都合上、四〜五通電文から読み上げ、他は役職、ご芳名のみとする。「以下、電文を省略させていただきます。」  
 会社 殿・・・

祝電はその場にいる方に広く発表するものであるから「披露」が良いが、弔電の場合は故人に読み聞かせるもので、「奉読」(つつしんで読む)とした方が良い。「拝読」との謙譲した言い方もあるが、本来は葬儀に参列できない方の電報を代わって読むのであるから「ご奉読」とする。(私的意見)